



https://www.kmma.jp

美術館紹介

1974年、北九州市立美術館は市のほぼ中央に位置するランドマークとして誕生しました。丘の頂上に2本の筒(チューブ)が突き出した独特な外観、左右対称(シンメトリー)が徹底されたエントランス。のちにポストモダン建築で知られる建築家 磯崎新氏が手がけた初期の代表作のひとつです。

開館以来、多彩な展覧会企画を展開するとともに、国内外の近現代美術を象徴する多角的なコレクションをめざし、ルノワール、ドガ、モネなどの印象派、江戸から明治にかけての浮世絵、絵画や版画を中心とする20世紀美術、西日本地域を中心とする地元作家作品を体系的に収集してきました。また1987年には本館に接続するアネックス棟を、2013年には、コムシティ内に黒崎市民ギャラリーを開設し、市民の芸術文化活動の拠点としても親しまれています。

2024年には、本館の開館から半世紀という大きな節目を迎えました。これまでの貴重なコレクションや、市民の皆様と紡いだ半世紀の歴史を未来に引き継ぐため、新たな一歩を踏み出していきます。

北九州市立美術館 本館

開館時間 9:30～17:30(入館は17:00まで)

休館日 毎週月曜日(※ただし月曜日が祝日・振替休日の場合は開館し、翌火曜日が休館)、
年末年始

観覧料 ◎コレクション展
一般/300(240)円、高大生/200(160)円、小中生/100(80)円
※()内は20名以上の団体料金
※障害者手帳を提示の方とその同伴者1名(身体障害者手帳については等級が1～4級の場合に限る)は無料。北九州市、下関市、福岡市、熊本市、鹿児島市にお住まいで、65歳以上の方は公的機関が発行した証明書を提示で観覧料90円。

◎企画展
展覧会によって異なります。

駐車場 無料駐車場約210台(大型バス駐車可・要事前連絡)

北九州市立美術館 黒崎市民ギャラリー

開館時間 9:00～19:00

休館日 年末年始及び館内整理日

北九州市立美術館

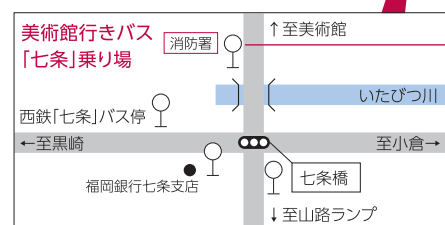
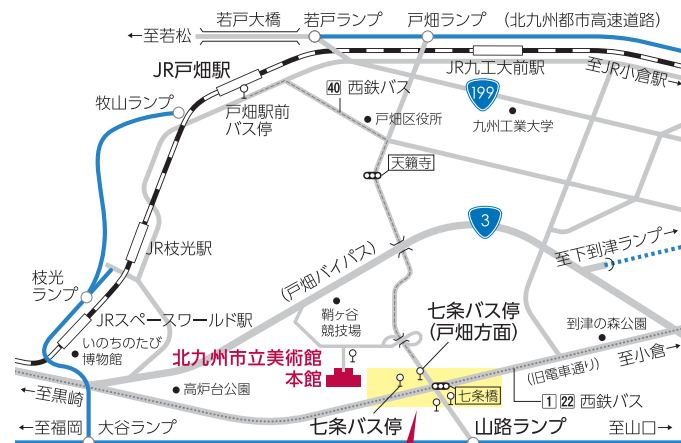
Kitakyushu Municipal Museum of Art

〒804-0024 北九州市戸畑区西鞘ヶ谷町21-1

TEL 093-882-7777 FAX 093-861-0959

ACCESS

交通アクセス



八幡東消防署高見分署前
西鉄「七条」(戸畑方面)
バス乗り場から
乗車ください。



交通案内(本館)

西鉄バス

市内各地より

「七条」で下車、
「七条(戸畑方面)」(八幡東消防署高見分署前)から
7M番(製鉄飛幡門行き)に乗車、
「北九州市立美術館」で下車(所要6分)。

J R

JR小倉駅(在来線・新幹線)より

「小倉駅入口」(JR小倉駅からモノレールに沿って行き、
小倉駅前交差点を渡って左、徒歩5分)から
西鉄バス7M番(鞘ヶ谷方面行き)に乗車、
「北九州市立美術館」で下車(所要30分)。

JR戸畑駅より

「戸畑駅」から西鉄バス7M番(砂津行き)に乗車、
「北九州市立美術館」で下車(所要25分)。

JRスペースワールド駅・JR枝光駅より

タクシー(所要10分)。

車

北九州市立美術館

(山路ランプ)より

車で8分。



INFORMATION

美術館友の会・ミュージアムショップ・カフェ

美術館友の会

お問合せ先 北九州市立美術館内友の会事務局
TEL 093-882-7777 FAX 093-861-0959

年会費/特典

会員種別	年会費(円)	観覧料特典	
		コレクション展	企画展(美術館主催)
一般	2,000円	無料	当日料金の半額
ペア	3,600円	無料	当日料金の半額
特別(個人)	10,000円	無料	無料
特別(法人)会員証2枚進呈	30,000円	会員証1枚につき同伴者1名も無料	

※半年会員(10月以降の入会の方)はいずれも上記金額の半額

その他特典

- ◎ 友の会会報や展覧会案内などを送付。
- ◎ 展覧会図録の進呈・割引。※一部図録を除く。
- ◎ その他特典あり。詳細は友の会事務局まで。

美術館パートナーズ

美術館とともに、「地域の美術の振興」や「美術教育を通じた次世代育成」に取り組んでいただくパートナーを募集しています。
年会費 100,000円(法人・個人)

- 特典 ◎ 招待券を進呈。
(コレクション展・企画展 各30枚 ※招待券の一部を図録に変更可)
◎ 展覧会の開会式・内覧会にご招待。

ミュージアムショップ(本館1F)

オリジナルグッズや所蔵品の関連グッズ、
会期中の限定グッズ、美術図書、北九州
ゆかりの商品などを取り揃えております。
どなたでもご利用いただけますので、
ご来館の記念やお土産にぜひご利用ください。



カフェ・ミュゼ(本館2F)

お食事を楽しみながら、大窓からは
響灘と市街を一望できます。
美術鑑賞のあと、ゆっくりと流れる
くつろぎの時間をお過ごしください。



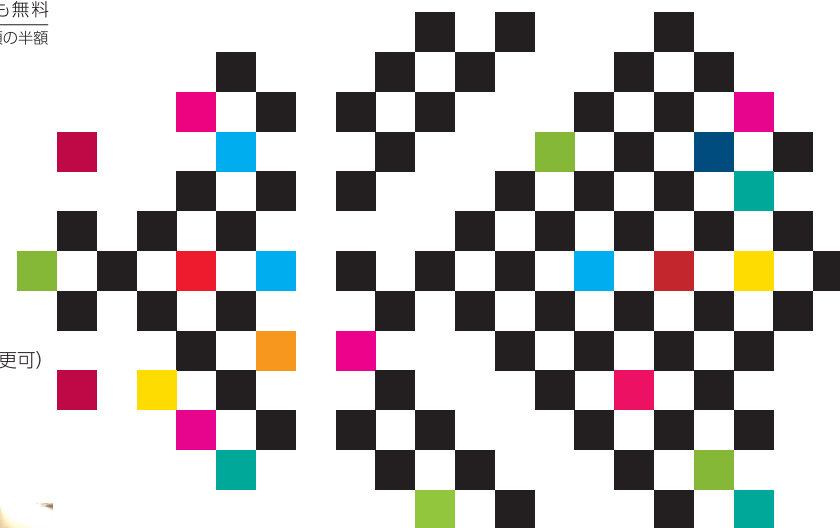
10:30～17:30 [L.O.17:00] (ランチ 11:30～ [L.O.15:00])

定休日:美術館休館日

TEL 093-616-9777 http://www.cafemusee.net

EXHIBITION
SCHEDULE
2025.4-2026.3

展覧会スケジュール



KITAKYUSHU
MUNICIPAL MUSEUM OF ART

北九州市立美術館

Kitakyushu Municipal Museum of Art



【コレクション展Ⅲ】
特集 海外に渡った画家たち
2月8日(土)～5月18日(日)

諸外国に渡り新しい芸術に触れ、自己の表現を探らし
開花させた日本人画家たちに焦点をあて軌跡をたどる。

高橋秀(大いなる期待)1977年 当館蔵

北九州芸術祭総合美術展

10部門(洋画・彫刻・書道・写真・水彩画・
染織・日本画・水墨画・帆船模型・
茶道)

4月1日(火)～20日(日)

《本館企画展示室》洋画・彫刻・書道
《アネックス》写真・水彩画・帆船模型・茶道
《黒崎市民ギャラリー》日本画・水墨画・染織
北九州で文化活動をされている方々の作品を展示。

再興 第109回 院展

4月19日(土)～5月6日(火・振休)

岡倉天心が創設した日本美術院が主催する
日本画の展覧会。
同人作家の新作33点をはじめ、受賞作品、
および九州在住作家の入選作品を含む
62点を展示。伝統と創造の精神を受け継ぐ
現代日本画の粋を楽しめる。



井手康人(同人)《月乃神》2024年



【コレクション展1】
特集 マティスとピカソ ゲスト展示: guest room 010 中村ミナト
5月31日(土)～9月21日(日)

20世紀を代表する2人の偉大な画家、アンリ・マティスとパブロ・ピカソ。
それぞれの版画集『ジャズ』と『ヴォラールのための連作集』を中心に、
2人の交遊と同時代のパリで活躍した画家たちの作品を紹介。

アンリ・マティス(『ジャズ』(16)運命)1947年 当館蔵



中村ミナト
《curve meets flat》
2022年 作家蔵(参考図版)
撮影:山本紉

ポップ・アート 時代を変えた4人

5月17日(土)～6月29日(日)

スペイン出身のコレクター、ホセリス・ルペレス氏
所蔵による、約120点の版画、ポスターを日本初公開。
リキテンスタイン、ウォーホル、ラウシェンバーグ、ジョーンズの
作品とともに、同時代に活躍した作家もあわせて紹介。

アンディ・ウォーホル(マリリン)1970年 ルペレス・コレクション
©Jose Luis Ruperez Collection
©2025 The Andy Warhol Foundation for the Visual Arts, Inc. / ARS,
NY & JASPAR, Tokyo E5948



中島佑太 だれかと逃げ出せグーチョコキパー!

7月19日(土)～8月31日(日)

参加型作品やワークショップを手がけるアーティスト中島佑太。
北九州や各地で行ってきたこれまでの活動を振り返りながら、
会期中も来場者が関わることで有機的に展示内容が変わっていく
参加型/ワークショップ型の展覧会。

中島佑太(今日の遊び場)2024年(参考図版)
Photo: Shinichi Ichikawa



黒田征太郎展 絵でできること

9月20日(土)～11月9日(日)

黒田征太郎、86歳、初となる大規模個展。
これまでに作品は20万点を超え、
今なお描き続ける孤高の画家の相貌を
展開する。
時代の鏡としたイラストレーターから、
深淵な世界と時を撃つ画家の覚悟を、
作品の変遷と功績を大回顧する。

2025 4
10
展覧会スケジュール

5
11

6
12

7
2026 1

8
2

9
3



黒田征太郎展
絵でできること
9月20日(土)～11月9日(日)

黒田征太郎
《ジチンソウチ》
制作年不詳
個人蔵

第80回 県展
11月20日(木)～24日(月・振休)

日本画・洋画・彫刻・書・写真・工芸・
デザインの7部門を展示。

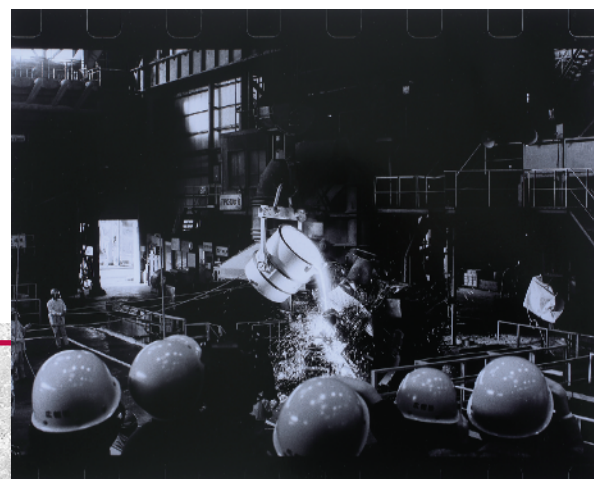
第59回 北九書の祭典
11月27日(木)～30日(日)



【コレクション展Ⅱ】
特集 版元からみる浮世絵の名品
10月4日(土)～2026年1月18日(日)

蔦屋重三郎(耕書堂)、西村屋与八(永寿堂)、竹内孫八(保永堂)など、
浮世絵制作の企画から販売を担った版元の手腕に着目して
浮世絵の名品を紹介。

葛飾北斎(雷蔵三十六景 神奈川沖浪裏)1831年頃(版元:西村屋与八) 当館蔵



鉄と美術(仮称)
2026年1月4日(日)～3月15日(日)

1901年に官営八幡製鐵所が操業を開始してから、
鉄の都として発展した八幡、北九州の歴史を軸に、
素材に鉄が使われた作品や、鉄の都をめぐる
様々な文化の表象を紹介。

四宮佑次
《The Document :Frank Stella and YAWATA WORKS.
Kitakyushu 1993 27》1993/2013年 当館蔵

【コレクション展Ⅲ】
特集 没後5年 菊畑茂久馬
2026年1月31日(土)～5月6日(水・振休)

前衛美術集団「九州派」の主要メンバーとして全国的な注目を集め、
反芸術の旗手として活躍した菊畑茂久馬を特集する。

菊畑茂久馬(天動説3)1983年 当館蔵

